

各位

三井不動産レジデンシャルサービス関西株式会社

健康経営に関する取り組みについて
～「健康経営優良法人 2026」認定のお知らせ～

三井不動産レジデンシャルサービス関西株式会社（本社 大阪市中央区、代表取締役社長 毛利恵一）は、健康経営に関する取り組みが評価され、健康経営に優れた企業として経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人 2026 大規模法人部門」に認定されたことをお知らせいたします。当社は、多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境を構築するため、健康経営の推進に取り組んでいます。今後も従業員が働きがいを持って、安心して働ける環境作りを積極的に推進してまいります。

■健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」
<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」
https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

以上